

眼科専門研修プログラム

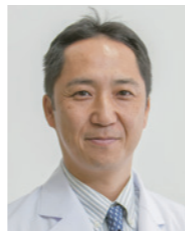
地域に寄り添いながら眼科学を楽しみ、そして究める

募集定員 4名
研修期間 4年



責任者からのメッセージ

眼科 教授 池田 康博



宮崎大学医学部眼科学教室は、1976年に創設された比較的若い教室です。医局員は30名と少しずつ増えてきておりますが、教授・准教授から研修医までがいつも顔を合わせながら、アットホームな雰囲気の中で日々の診療・教育に励んでいます。

広大な宮崎県の眼科医療を当教室が支えています。白内障や緑内障のような一般的な疾患だけでなく、小児眼科、瞼や涙道の疾患などといったあらゆる眼疾患に対し、高いレベルを保ちながら診断から治療までを実践しています。眼科学を楽しめる環境を整備することで、若い先生には少しでも早く一人前に育ってもらい、宮崎県の眼科医療を支えて欲しいと思っています。

プログラムの特徴

眼科疾患は小児から高齢者まで幅広い年齢層が対象で、内科的治療だけでなく外科的治療も必要とし、幅広い医療技術の習得が求められています。宮崎大学眼科専門研修プログラムでは、以下の眼科医の育成を目指します。

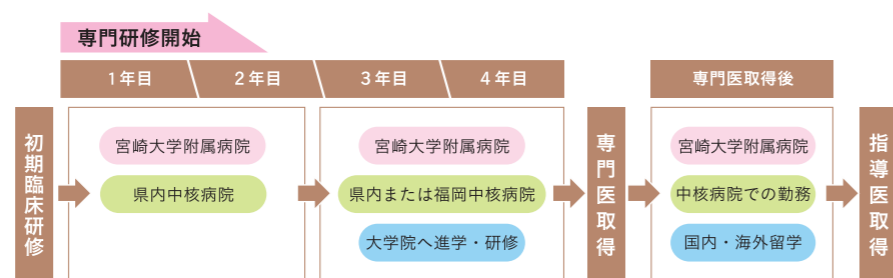
- 1 一般眼科学に精通し、専門性の高い眼科治療にも対応できる眼科医
- 2 一般診療所の医師のみならず総合病院の眼科医としてやっていけるだけの必要かつ十分な技術を身につけ、将来地域で活躍できる眼科医
- 3 診療技術のみならず、学会発表や論文作成を通じて科学的に思考できる眼科医

連携施設名等

	施設名	指導医	内眼手術 (年間)	外眼手術 (年間)	レーザー手術 (年間)
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	池田 康博 教授、他5名	1,198	513	190
連携施設	県立宮崎病院、県立日南病院、済生会日向病院、宮崎中央眼科病院、宮田眼科病院、九州大学病院、JCHO九州病院、麻生飯塚病院				

専門医取得までのタイムスケジュール

4年間の研修期間中、1年目、あるいは2年目のどちらかを専門研修基幹施設である宮崎大学医学部附属病院で研修します。1、2年目は宮崎大学医学部附属病院、連携する県内の中核病院のいずれかで研修を行い、3年目以降は宮崎大学医学部附属病院、県内の中核病院、もしくは福岡県の中核病院で研修します。



取得可能な専門医資格および技能

眼科専門医、神経眼科相談医、眼科PDT認定医

プログラム達成目標

- 1 医師としての基本姿勢・態度、眼科6領域(角結膜、緑内障、白内障、網膜硝子体・ぶどう膜、屈折矯正・弱視・斜視、神経眼科・眼窩・眼付属器)、他科との連携に関する専門知識。
- 2 検査、診断、処置、手術、手術管理、疾患の治療・管理に関する専門技能。
- 3 学問的姿勢。
- 4 医師としての倫理性、社会性を身につける。

主要症例名と実績数

2022年度の宮崎大学医学部附属病院眼科における手術件数は、白内障手術591件、網膜硝子体手術304件、緑内障手術277件、斜視手術207件、レーザー手術190件、涙道手術53件、角膜移植2件を含む計1,901件でした。これは眼科のほぼすべての領域をカバーしています。さらに県下唯一の大学病院であるため、稀少症例も経験することができます。また県内外の6つの専門研修連携施設においても、common diseaseをはじめそれぞれの施設の特色により集まった多数の症例があり、基幹施設以外でも専攻医として必要な手術症例数を十分に経験できます。

週間スケジュール (宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
午前	・手術 ・専門外来 (緑内障)	・病棟回診 ・外来業務	・手術 ・専門外来 (小児・斜弱・神経眼科) (ぶどう膜炎)	・病棟回診 ・外来業務	・手術 ・専門外来 (黄斑変性) (未熟児網膜症)
午後	・手術 ・専門外来 (緑内障) ・病棟業務	・外来業務 ・専門外来 (未熟児網膜症) ・病棟業務 ・手術カンファ	・手術 ・専門外来 (小児・斜弱・神経眼科) (ぶどう膜炎) ・病棟業務	・外来業務 ・専門外来 (角膜) ・病棟業務 ・症例検討会	・手術 ・専門外来 (黄斑変性) (未熟児網膜症) ・病棟業務

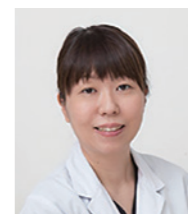
指導医からのメッセージ



助教 杉田 直大

眼科という身体のほんの小さな部分だけを扱う狭い領域のように感じるかもしれませんが、実際はその中にも多くのサブスペシャリティがあり、それぞれに奥深い世界が広がっており飽きることはありません。

また宮崎大学眼科大きな医局ではないので、それぞれの希望に応じた小回りの利く専門研修ができると思います。実際、私はキャリアの割に多くの硝子体手術を経験させてもらっており、今後は後輩たちにもそれを伝えていきたいと思っています。是非私たちといっしょに、宮崎大学眼科で楽しく眼科道を究めましょう！

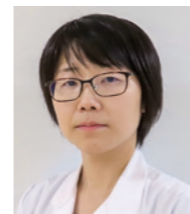


助教 日高 貴子

初期研修医の時に私が眼科を選んだ理由は、手術に携わることができて、幅広い年齢の患者様を診療することができることでした。眼科医になってからは、眼科診療の奥深さ、面白さを感じながら日々精進しております。

今指導する立場となり、眼科の魅力を感じることができ、研修医の皆さんの糧となるような指導ができたかと思っております。それぞれ皆さん色々なバックグラウンドを持ちながら働いていらっしゃると思いますが、眼科はそれぞれの働き方に柔軟に対応できる科です。眼科に興味がある先生方だけではなく、どの科を回ろうか悩んでいる先生もぜひ一度眼科で研修してみてください！

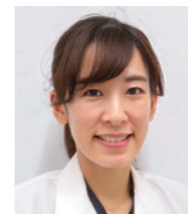
先輩からのメッセージ



山添 早織

眼科は診察や検査など特殊ではありますが上級医の先生方に指導を受けながら1年目から手術の執刀や

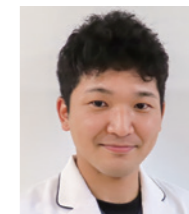
外来に携わることができ、手術の基本となる白内障手術は豚眼を使用してヒトの眼に近い状況で練習を積んで実際の手術に臨むことができるため、手術ができるか不安な人でもトレーニング環境は充実しています。眼科の診療は外科的要素だけでなく内科的要素もありますし、意外と全身疾患と関連する眼症状・所見が多くあり、眼科所見から全身疾患を疑う端緒となることもあれば、全身疾患の合併症として眼科疾患が疑われることもあります。ですので、学生・研修医で全身について学んだことは決して無駄にはなりません。眼科に入ってからでも選択肢が多いため、ある程度進路を決めた人も何も決まっていなくてもとりあえず眼科を回ってみてください！



新井 千晶

たった2センチちょっとの器官である眼に…こんなにもたくさん病気があるの?!というのが、眼科研修を始めてまず

感じたことでした。眼科は検査も診察も専門的でありなじみがなかったのですが、勉強しながら日々その面白さを感じて診療しています。治療の経過で「かすみが取れてきた!」「今日視力1.2だった!」「だぶりがなくなって楽になった!」と、アウトカムが患者さんにも医療者にもわかりやすい側面があり、患者さんからそんなふうに言われた時はいつも一緒に喜んでます。わからないことや不安な手技があっても、年数の近い先輩から准教授、教授まで、すぐに尋ねたり、一緒に診療してくださる雰囲気があるので、心強い環境で不安なく研修を積めるのが宮崎大学の強みだと思います。少しでも興味がある方は百聞は一見にしかず!ぜひ一度見学にいらしてください。のぞいてみるわかる奥深い眼科の世界にきっと魅了されます。



満留 一匠

眼科医である私の父は、手術の動画を家でもよく見ていました。子供心に、ずっと目ばかり見てなに

が面白いんだろうと思いつつ、横でゲームをしていた記憶があります。しかし自分が眼科医になり、今なら眼科の面白さがわかります。手術のたびに新しい発見・改善点があり、できなかったことができるようになったときには頭の中でレベルが上がる音がします。眼科ならではの診察・検査で隠れた所見を探し出し、最適な治療法を選択するプロセスは謎解きのような醍醐味があります。そして、いつも周りにはアドバイスをくれる心強い先生方がいて、目の健康を守るために毎日共に戦っています。一緒に眼科の冒険の世界を楽しんでみませんか、お待ちしております。

お問い合わせ先

T E L : 0985-85-2806
F A X : 0985-84-2065

担当: 日高 貴子

e-mail : takako_hidaka@med.miyazaki-u.ac.jp

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/ophtha/

眼科 HP



耳鼻咽喉科 専門研修プログラム

内科系、外科系どちらでもできます
新生児からお年寄りまで診ます
外来診療から手術まで、ステップアップが実感できます

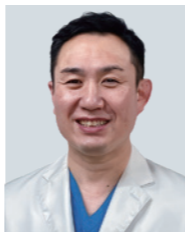
募集定員
5名

研修期間
4年



責任者からのメッセージ

耳鼻咽喉科
教授 高橋 邦行



耳鼻咽喉科・頭頸部外科の範囲は、生命・機能維持に関する多くの感覚器、運動器があり、内科的、外科的な両面から、生活の質(Quality of life)の改善、健康増進を目指しています。めまい、感染症、アレルギー性疾患から、人工聴覚器のような先進医療、気道緊急などの救急疾患、悪性腫瘍に対する集学的治療まで、さまざまな分野に対応しています。映像の共有、シミュレーション手術も用い、レベルに合わせた屋根瓦方式な指導で、若いうちより安全、確実に技術の獲得ができます。医療者自身が健康で楽しく仕事をできないと、患者さんの健康を守ることができません。当科では組織として互いにリスペクトし、楽しく仕事ができる環境を実践しています。

プログラムの特徴

耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門医としての知識・技能・医療倫理を兼ね備えた医師を養成しつつ、宮崎県の地域医療充実と質の向上に貢献することを目的としています。宮崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室を中心とする連携研修施設群において、耳鼻咽喉科専門医を育成するためのプログラムであると同時に、学会発表や学術論文作成を通じて自然科学者としてのリサーチマインドも重視します。また、地域の医療情勢の理解、他大学との技術交流、人材交流の目的で、琉球大学、東京慈恵会医科大学、国際医療福祉大学との連携も選択可能です。

取得可能な専門医資格および技能

耳鼻咽喉科専門医: 耳、鼻、口腔咽喉頭、頭頸部全ての領域において「標準的医療を提供できる」耳鼻咽喉科専門医を育成するためのプログラムです。



連携施設名等

	施設名	指導医	年間手術件数
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	高橋 邦行 教授、他 4名	904
連携施設Ⅰ	県立宮崎病院、国立病院機構都城医療センター、宮崎善仁会病院		
連携施設Ⅱ	琉球大学医学部附属病院、東京慈恵会医科大学附属病院、国際医療福祉大学成田病院		

連携施設Ⅰ・・・地域医療を担う病院：指導医1名以上、スタッフ1名以上、年間手術件数150件以上
連携施設Ⅱ・・・他大学病院(様々な地域の中心的存在として機能している。基幹施設だけで習得することのできない、地域性豊かかつ専門性の高い最先端の医療を経験できる。)

専門医取得までのタイムスケジュール

コース	1年	2年	3年	4年
基本コース	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	地域医療施設	宮崎大学附属病院
国内留学コース	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	他大学連携施設	宮崎大学附属病院
基礎研究展開コース	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	地域医療施設	宮崎大学大学院
地域枠キャリア形成コース	宮崎大学附属病院	地域医療施設	地域医療施設	宮崎大学附属病院

プログラム達成目標

1年目(2024年度)：

宮崎大学医学部附属病院において専門研修の基礎を固めます。

2年目(2025年度)：

宮崎大学医学部附属病院において大学病院特有の専門性を有する疾患の経験を積みます。

3年目(2026年度)：

連携施設Ⅰのいずれかにおいて6ヵ月～12ヵ月間の地域医療の実践的な研修を行います。また、連携施設Ⅱにおける大都市や異なる医療圏での研修の選択も可能です。

4年目(2027年度)：

宮崎大学医学部附属病院において専門研修の総点検を行い、不足事項があれば補填した上で専門医試験前対策期間を適宜設けます。また、基礎研究展開コースでは社会人大学院に入学して基礎研究を開始します。

主要症例名と実績数

専攻医は4年間の研修期間中に右表の疾患について、外来あるいは入院患者の管理を受け持ち医として実際に診療経験しなければなりませんとされていますが、当プログラムでは十分経験することが可能です。

症例	実績数	症例	実績数
難聴・中耳炎	25例以上	喉頭腫瘍	10例以上
めまい・平衡障害	20例以上	音声・言語障害	10例以上
顔面神経麻痺	5例以上	呼吸障害	10例以上
アレルギー性鼻炎	10例以上	頭頸部良性腫瘍	10例以上
鼻・副鼻腔炎	10例以上	頭頸部悪性腫瘍	20例以上
外傷・鼻出血	10例以上	リハビリテーション(難聴、めまい・平衡障害、顔面神経麻痺、音声・言語、嚥下)	10例以上
扁桃感染症	10例以上	緩和医療	5例以上
嚥下障害	10例以上		
口腔・咽頭腫瘍	10例以上		

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
AM	手術	MENTOR朝ゼミ 抄読会	手術 聴覚支援 外来	症例検討会 病棟回診	手術
		外来		外来	
PM	手術	手術 外勤：発達支援センター	手術 聴覚支援 外来	放射線科合同 カンファレンス	手術 外勤：田野病院
				医局会 MENTORタゼミ	

指導医からのメッセージ



医局長 後藤 隆史

みなさん、こんにちは。医局長の後藤です。当教室は、永年耳科学を中心に全国に発信して来た教室で、耳科手術に関しては全国トップレベルに位置し、年2回の手術講習会開催を通じて全国の先生方と知り合う機会にも恵まれている、そんな教室だと自負しています。また地域医療の基幹拠点として、県内3施設・県外2施設に常勤医を、県内・県外の10施設に非常勤医を派遣し地域医療に貢献しています。また外科医としてのみならず内科系医師としても、フルタイムでもパートタイムでも働く事が出来る環境にあります。「宮崎ブランド」としてどこに出しても恥ずかしくない耳鼻咽喉・頭頸部外科医に育てますので、老若男女問わずお待ちしております。

ココに注目!

◆耳鼻咽喉科の特徴

五感、すなわち視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚のうち視覚を除いて耳鼻咽喉科の守備範囲です。耳鼻咽喉科は人間が人間らしく生きる上でもっとも基本的かつ重要な機能を扱っています。扱う疾患、手技が多岐にわたるため、個々の興味、能力、体力などに応じて、耳鼻咽喉科・頭頸部外科の中で、自分にふさわしい分野(サブスペシャリティ)を見つけることができます。

◆女性医師について

日本耳鼻咽喉科学会会員の女性医師は年々増加傾向にあり、現在24%を超えています。小児難聴をはじめ従来から女性医師が活躍してきた領域も多く、高い専門性を保ちながら医療の第一線で活動を継続している女性医師が多いのも耳鼻咽喉科の特徴です。

先輩からのメッセージ



猿渡 英美

私は初期研修の時に耳鼻咽喉科に興味を持ち、入局を決めました。耳鼻咽喉科の魅力の一つは、耳、鼻、のど、頭頸部と幅広い分野を学ぶことができ、また新生児から高齢者まで様々な方と関わることができる点だと思います。働き方も様々で、専門分野を決めることもできますし全ての分野を学ぶこともできます。また診療形態の選択肢も多く、育児をしながらでも希望通りの働き方で仕事を続けやすい環境だと思います。耳鼻咽喉科に興味のある方もない方も、まずはぜひ気軽に遊びにきてください。



久富木 冠

入局して、4年が経とうとしています。ポリクリでの実習を通して、興味を持ったこの科の一員として、憧れだった先輩方と一緒に楽しく働かせていただいています。耳鼻咽喉科医は、音楽を聞く、睡眠をとる、食事を摂る、といった楽しく生きていく上でとても重要な役割を果たしている器官の専門家です。1年目から、これらに対し、手術・外来診療を通して深く関わることができ、症状が改善したときには、患者さんの喜びを直に体感できることが当科の魅力だと感じています。もちろん自分自身が楽しく生きることが重要で、毎朝のサーフィン診療前の至福のひとつとなっています。ぜひ、宮崎大学病院耳鼻咽喉科で、ともに楽しく働きましょう。

お問い合わせ先

TEL：0985-85-2966
FAX：0985-85-7029
担当：奥田 匠
e-mail：takumi_okuda@med.miyazaki-u.ac.jp http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/jibika/

耳鼻咽喉科 HP



募集定員 6名
研修期間 4年



責任者からのメッセージ

泌尿器科
教授 賀本 敏行



当教室は、宮崎医科大学の開設にともない昭和52年に開講されました。平成21年5月から私が3代目として担当させていただいております。当教室は、宮崎医科大学の開設にともない昭和52年に開講されました。平成21年5月から私が3代目として担当させていただいております。当教室は、宮崎医科大学の開設にともない昭和52年に開講されました。平成21年5月から私が3代目として担当させていただいております。

当教室は、宮崎医科大学の開設にともない昭和52年に開講されました。平成21年5月から私が3代目として担当させていただいております。当教室は、宮崎医科大学の開設にともない昭和52年に開講されました。平成21年5月から私が3代目として担当させていただいております。

プログラムの特徴

宮崎大学泌尿器科専門研修プログラムは宮崎大学医学部附属病院を中心としたいくつかの診療拠点病院と地域医療を担う地方中核病院の2群から構成されています。泌尿器科専門医に必要な知識や技能の習得と同時に、地域医療との連携や他の専門医への紹介・転送の判断も的確に行える能力を身につけることができるよう配慮しました。また学術的な涵養を目的とした大学院進学コース、専門研修後にはより高い臨床実施能力の獲得を目指す臨床修練コース、2つから選択することが可能です。

連携施設名等

施設名	指導医	年間手術件数
基幹施設 宮崎大学医学部附属病院	賀本 敏行 教授、他7名	421
連携施設 県立延岡病院、県立日南病院、藤元総合病院、野崎東病院、千代田病院、おがわクリニック、串間市民病院、潤和会記念病院、古賀総合病院、小林市立病院、人吉医療センター、熊本大学病院、済生会熊本病院		

専門医取得までのタイムスケジュール

○ 大学院進学コース

大学院進学コースにおいては専門研修4年次において大学院へ入学する。病棟や外来業務は従来と同様に行うが、一方で自分の専門分野を決定し研究の準備も並行しながら行う。本コースを選択した場合は卒業後6年間で専門医の取得が可能で9年間で学位を取得することが可能です。



○ 臨床修練コース

臨床修練コースにおいても原則的には2-3年目を研修連携施設で研修し4年目に大学病院に戻って研修しますが、本人の希望や研修の進み具合により2年目以降の研修先に関しては専門研修プログラム委員会が決定します。



取得可能な専門医資格および技能

- 1 泌尿器科専門医、指導医
- 2 癌治療認定医
- 3 泌尿器腹腔鏡技術認定
- 4 日本内視鏡外科技術認定(泌尿器科領域)
- 5 日本小児泌尿器科学会認定医
- 6 da Vinci Xi surgical system certificate

プログラム達成目標

専攻医は泌尿器科研修プログラムによる専門研修により、「泌尿器科医は超高齢社会の総合的な医療ニーズに対応しつつ泌尿器科領域における幅広い知識、錬磨された技能と高い倫理性を備えた医師である」という基本的姿勢のもと、4つの基本的診療能力(コアコンピテンシー)からなる資質を備えた泌尿器科専門医になることを目指します。また、各コアコンピテンシーにおける一般目標、知識、診療技能、態度に関する到達目標が設定されています。

○ 4つの基本的診療能力(コアコンピテンシー)

- 1 泌尿器科専門知識
- 2 泌尿器科専門技能：診察・検査・診断・処置・手術
- 3 継続的な科学的探求心の涵養
- 4 倫理観と医療のプロフェッショナリズム

主要症例名と実績数

- 1 前立腺、尿道：前立腺癌、前立腺肥大症、尿道狭窄、尿道下裂
- 2 膀胱：膀胱癌、膀胱結石、神経因性膀胱、膀胱尿管逆流症、間質性膀胱炎
- 3 腎：腎細胞癌、腎盂癌、腎結石、末期腎不全、水腎症
- 4 尿管：尿管癌、尿管結石、尿管狭窄
- 5 副腎：副腎腫瘍
(原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫)
- 6 陰嚢・陰茎：精巣癌、陰茎癌、停留精巣、精索捻転、陰嚢水腫

術式	2021	2022
腎摘除術	腹腔鏡	37
	開腹	0
腎部分切除術	腹腔鏡	0
	ロボット	24
	開腹	2
腎尿管全摘除術	腹腔鏡	21
	開腹	0
副腎摘除術	腹腔鏡	9
	開腹	0
膀胱全摘除術	腹腔鏡	19
	開腹	0

術式	2021	2022
前立腺全摘除術	腹腔鏡	0
	ロボット	64
	開腹	0
内視鏡手術	膀胱手術	71
	前立腺手術	2
小児手術	精巣固定術	17
	尿道形成術	3
その他	膀胱尿管逆流防止術	7
		110

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
朝	カンファレンス	抄読会			カンファレンス
午前	外来診察・入院患者処置	外来診察・入院患者処置	手術	外来診察・入院患者処置	手術 外来診察・入院患者処置
午後	外来診察・入院患者処置	カンファレンス・回診	手術	外来診察・入院患者処置	手術
夕方	小児泌尿器科カンファレンス (第2月曜)	病理カンファレンス (隔週)			

指導医からのメッセージ



准教授 澤田 篤郎

泌尿器科の医師が携わる領域はこの10年間でダイナミックに変化しています。手術はロボット手術による低侵襲かつ質の高い手術がメインとなり、またがん薬物治療では免疫チェックポイント阻害薬や分子標的薬の導入で治療選択肢が増えたこともあり、一人ひとりの患者さんに一貫して満足感のある治療を行うことが可能となりました。また排尿障害や尿路結石、男性医学や女性骨盤臓器脱など、幅広い領域のスペシャリティがあるのも泌尿器科の特徴です。特にロボット手術においては、泌尿器科が10年以上前に他のどの診療科よりも早くロボット手術を導入しリードしてきました。宮崎大学には最新機種 da Vinci Xi が2台ありますので、当科ではこれをフル活用して最高峰の手術を患者さんに提供しています。当科の雰囲気は、漢気あふれる賀本教授を中心に明るく和気あいあいと仕事をしています。国内留学にも積極的に、京都大学やその関連病院、札幌医科大学などで貴重な経験を積んで医師としての幅を広げることも可能です。研修医の皆さん、ぜひ一度見学に来てください。お待ちしております！

先輩からのメッセージ



泌尿器科2年目 宮元 耀嗣

私が宮崎大学泌尿器科に入局しようと思ったのは初期研修医2年目の夏でした。それまでは、漠然と外科系に進みたいと考えておりました。泌尿器科には、開腹手術・腹腔鏡手術、内視鏡、排尿機能、生殖、小児、移植、感染症と様々な分野があります。外科的な治療だけでなく、排尿機能や抗がん剤などの内科的な治療まで幅広く行うところが最大の魅力でした。早いもので入局して1年が経ちましたが、手術の執刀だけでなく、透視下でのステント挿入術、内視鏡操作など様々な手技を経験させていただいております。手技だけでなく、内科的にも癌や結石、排尿障害などと格闘する日々です。本当に様々な症例に出会うため、飽きる暇がありません。少しでも泌尿器科に興味のある方、まだ進路を決めていない方は是非、一度雰囲気だけでも味わいに来られてはいかがでしょうか？

ココに注目!

泌尿器科とは?

外科or内科系?どんな疾患をみるの?全身管理はするの?抗がん剤の治療はするの?などなど、名称ではイメージがつかない科の代表だと思います。外科的治療では内視鏡治療、体腔鏡、ロボット支援手術を進展させ、内科的治療では分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤などを多く使用している科です。一人の患者さんに対し診断、手術、抗がん剤治療、週末期に至るまでを主科としてみる事が多く、初期症状から人生の終着までの一連の流れを体験・理解することができます。また、研修中に習得してもらいたい手技として、腹部エコーや導尿などを指導しております。是非コツを掴んでください!最後に、研修すれば入局したくなってしまうと思います。お互い別れはつらいですが、他科に進まれる場合も笑顔でお見送りしますので、心配なく研修に来てください!それでは、会える日をお待ちしております。

泌尿器科1年目 大橋 かすみ



今年度泌尿器科に入局した大橋かすみです。宮大卒業後、県外で初期研修を行い宮崎に戻ってきました。泌尿器科には学生時代から興味があり、ロボットを用いた大手術から、腎臓・膀胱瘻造設術や結石手術、透析シャント拡張手術など、幅広い手技ができることに魅力を感じて選びました。初期研修先への入局も考えましたが、宮崎大学の先生方のお人柄や雰囲気の良いさに惹かれ、宮崎大学泌尿器科での専門研修を選びました。入局して1か月ほど経ち、先生方の熱心な指導のもと、日々の手術や外来、外勤などに取り組んでいます。あなたも宮崎大学泌尿器科で充実した日々を送りませんか?ぜひお待ちしております。

お問い合わせ先 TEL: 0985-85-2968

FAX: 0985-85-6958

担当: 高森 大樹 e-mail: urology@med.miyazaki-u.ac.jp

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/urology/

泌尿器科 HP



脳神経外科 専門研修プログラム

日本のひなた宮崎県で
あたたかな脳神経外科医を目指しませんか

募集定員 **3名**
研修期間 **4年**

連携施設名等

	施設名	指導医	年間手術件数
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	竹島 秀雄 教授、他6名	328
連携施設	県立宮崎病院、県立日南病院、都市市郡医師会病院、潤和会記念病院、金丸脳神経外科病院、池田病院		
関連施設	熊本大学附属病院、大分大学附属病院、和田病院		

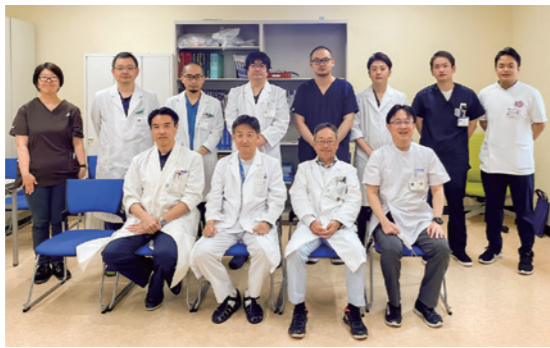
取得可能な専門医資格および技能

日本脳神経外科学会専門医を取得後、サブスペシャリティ専門医として以下の資格が取得可能です。

- 日本脳卒中学会専門医
- 日本脳神経血管内治療学会専門医
- 日本脳卒中の外科学会技術認定医
- 日本神経内視鏡学会技術認定医
- 日本脊髄外科学会専門医
- 日本小児神経外科学会認定医
- 日本癌治療認定医
- 機能的定位脳手術技術認定医

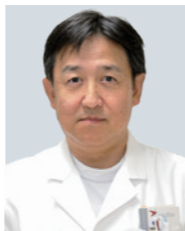
プログラム達成目標

当プログラム開始後4年間で脳腫瘍、脳血管障害、外傷、脊髄脊髄疾患、小児疾患、機能的疾患、感染などの疾患を経験し、最終的に日本脳神経外科学会専門医を取得することを目標とします。手技的には開頭手術や脊髄脊髄手術、脳血管内手術などの助手業務をこなし、訓練状況によっては開頭血腫除去術などを執刀医として手術を完遂できる技量を身につけることを目標とします。同時に脳神経外科専門医として必要な外来業務、病棟業務をこなし他科医師への適切な助言提供が行えることも目標とします。



責任者からのメッセージ

脳神経外科
科長 竹島 秀雄



宮崎大学における脳神経外科専門医の取得を目指すプログラムです。専門医取得のための症例数や診療・手術経験は、このプログラム

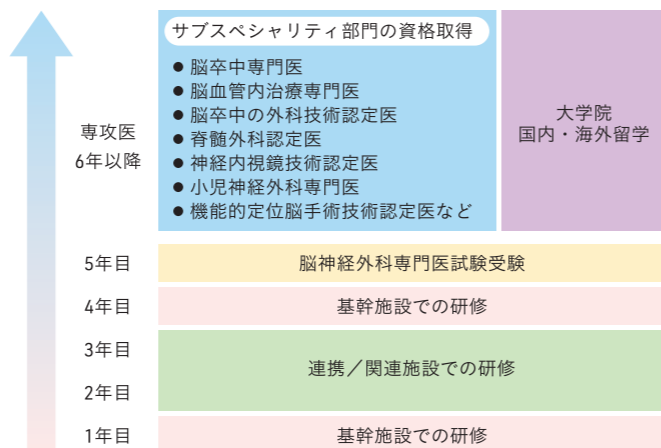
で十分に充足させることができますし、非常に高い合格率を誇っています。これを通過点として、血管内治療学会専門医などのサブスペシャリティの専門医資格や研究・留学などで更に飛躍を目指す若手医師を募集しています。時に厳しいものの恵まれた自然と暖かい人間関係のもとで、自分の可能性を大きく羽ばたかせてみませんか。

プログラムの特徴

本プログラムは宮崎県唯一の脳神経外科専門医を目指すプログラムです。原則的に宮崎県内での連携施設および関連施設のみで完結するコンパクトな研修システムですが、必要に応じて、他大学(熊本大学、大分大学)を関連施設として補充するものです。加えて基幹施設(宮崎大学)では脳腫瘍の遺伝子診断を基にテーラーメイドで治療方針を決定するなど、将来基礎・臨床研究面への橋渡しも考慮しています。手術設備についても手術用顕微鏡以外に内視鏡、外視鏡、ナビゲーションシステム、光線力学的治療装置など最先端機器を導入しその技術習得が可能です。また研修期間中も宮崎大学大学院医学獣医学研究科(博士課程)に社会人学生として在籍し、高度臨床医育成コースにおいて臨床研究に携わることが可能です。

専門医取得までのタイムスケジュール

当プログラム開始1年目(卒後3年目)は基幹施設(大学病院)で研修を開始します。2年目、3年目は連携施設もしくは関連施設で1年間ずつ臨床医師として訓練を積み、4年目で基幹施設に戻り研修を継続、5年目(卒後7年目)の夏に脳神経外科専門医試験(筆記および口頭試問)受験となります。脳神経外科専門医資格取得後はサブスペシャリティとして脳血管内治療専門医や脳卒中専門医などを任意で目指して頂きます。



主要症例名と実績数

基幹施設では脳腫瘍、先天性奇形・水頭症、機能的疾患手術や脳血管内手術が大部分を占め、一方で連携・関連施設では脳血管障害、外傷、脊髄脊髄手術、脳血管内手術が多くを占めます

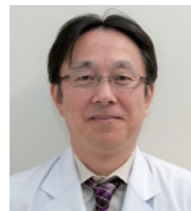
症例	実績数
脳腫瘍手術	133
脳血管障害手術	132
外傷手術	293
先天性奇形・水頭症手術	108
脊髄脊髄手術	206
機能的疾患手術	16
脳血管内手術	243



週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
午前	7:30~	抄読会	回診	カンファ	回診
	8:00~	カンファ	手術	総回診	手術
	8:30~				
	9:30~	病棟	手術	病棟	
	10:00~				病棟
午後	13:00~17:00				

指導医からのメッセージ



医局長 大田 元

私は「神経を扱う外科系」に興味があり、最終的に脳神経外科を選択しました。デリケートな部位を扱う診療科であるため、入局前や入局直後は「果たしてやっていけるのか?」という不安が多かったです。しかし多くの臨床経験を積み、先輩・同僚・後輩・コメディカルスタッフの助けを受けながら、いつの間にか脳神経外科専門医として成長できました。不安があっても相談し解決できる事は多くあります。「自分に脳外科医が務まるか」と迷っている君、安心して脳神経外科学分野に飛び込んで下さい。全力でサポートします。明るい未来が待っています。

先輩からのメッセージ



助教 河野 智樹

脳外科には研修医時代に特に外傷に興味を持ち、脳神経外科を専攻することを決めました。宮崎大学脳神経外科は限られた人数で、宮崎県内の脳腫瘍・脳血管障害・脊髄脊髄・小児・機能分野をカバーする必要があり、仕事量が多いと思います。しかし、卒後8年目ですが執刀医の機会も多く、幅広く経験をさせてもらっています。和気あいあいとした医局と一緒に働きませんか。お待ちしております。



病棟医長 松元 文孝

私は2006年に宮崎大学を卒業後、臨床実習の際に脳神経外科で働く先生方に接したことでこの診療科へ進むことを決意しました。顕微鏡手術は実にかっこよく見え、この世界で自分も生きたいと思いました。卒後研修後2008年に脳神経外科に入局し、自分の人生が始まったと感じたのをよく覚えています。脳の手術をするというと、すごく難しいことをしていて、自分には無理だと思うかもしれませんが。しかし脳神経外科の大部分の技は理屈を理解し、最善の作戦を立てることの方が重要です。ここに少しの器用さを添えることで、手術は魔法のように完成していきます。私も多くの先輩から魔法のような手術をたくさん見せていただき、今はそれを自分が実践していく番になってきていると感じています。もし皆さんと接する機会があれば共にこの技術を伝承しながら次の時代につなげていけたらと考えます。



専攻医 有川 壮磨

私は学生の頃より外科に興味があり、研修医時代に脳神経外科医が救急外来で対応している姿に惹かれて脳神経外科の道を選びました。脳神経外科は脳血管障害や脳腫瘍にしろ、画像検査等を駆使して緻密な戦略を立てて手術を行うところが魅力の一つです。また当院では従来の顕微鏡手術、脳血管内治療、内視鏡治療に加えて、令和4年度から外視鏡治療も取り入れており、最先端の技術を経験できる環境があります。人数の多い医局ではないですが、先輩方がしっかりご指導して下さい。屋根式式の教育方針は整っていると思います。確かに忙しいですが、休日祝日は当直医が対応するため毎日呼び出されるということはなく、夏休みが2週間、冬休みが1週間あるなどオンオフはしっかりしています。是非一度見学だけでもお越しください。

ココに注目!

宮崎県下の脳神経外科専門医数は少なく忙しいのは事実ですが、少ないからこそ短期間での「個人症例経験数」は多くなることはメリットです。また夏季休暇(2週間)と冬季休暇(1週間)はきちんと確保しますし、希望者には国内・海外留学も可能です。

博士号や各種専門医・認定医の資格獲得も手厚く援助致します。また外部講師を招いての講演会(懇親会)を頻繁に行い人脈作成も可能ですし、全国学会や国際学会への積極的な参加もサポート致します。



お問い合わせ先

T E L : 0985-85-3128
F A X : 0985-84-4571

担当 : 山下 真治

e-mail : miyazakineuros@gmail.com

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/neurosurgery/

脳神経外科 HP



放射線科 専門研修プログラム

目指せ！“Doctor's doctor”
必要とされる優れた放射線科医へ！

募集定員 **5名**
研修期間 **3年**



責任者からのメッセージ



放射線科 教授 東 美菜子

放射線医学は、放射線診断(画像診断、核医学、IVR：Interventional Radiology)と放射線治療からなります。近年、高精度で安全な検査・治療を可能にする技術の開発が著しく、人工知能(AI)の研究もさかんで、高度な技術の臨床応用が進んでいます。放射線科では、様々な技術を駆使して、各診療科のニーズに応じ、あらゆる年齢・臓器を対象とした適切な放射線診療を提供することに日々励んでおります。我々宮崎大学放射線科は、宮崎の放射線診療の充実を目的とした人材育成に力を入れ、チーム医療の一員としての心構えや各診療科医師とのコミュニケーションスキル、放射線診療の知識と技術を習得できるような充実した研修プログラムを作成し、熱心に教育を行っています。さらに、最先端の画像技術やAIを用いた研究を行っており、リサーチマインドの育成にも取り組んでおります。みなさんと一緒にお仕事ができる日を医局員一同大変楽しみにしております。

プログラムの特徴

本プログラムは、放射線診断医・放射線治療医となるために必要な研修を、基幹病院である宮崎大学医学部附属病院と連携施設で行います。

- 基幹病院である宮崎大学医学部附属病院で、放射線診断(画像診断・核医学・IVR)・放射線治療のトレーニングを幅広く受けます。
- 連携施設では、救急疾患や日常よく遭遇する疾患の画像診断を多く経験し、総合的な診療能力を培います。
- 症例報告を含む学会発表の経験を積み、海外での学会発表や論文作成を目指します。
- 希望者は、先進画像を用いた研究や人工知能(AI)研究など、画像診断・放射線治療に関する研究を経験できます。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	11名	画像診断・IVR・放射線治療
連携施設	県立宮崎病院、都城市郡医師会病院、藤元総合病院、宮崎市郡医師会病院、宮崎江南病院		
関連施設	都城健康サービスセンター		

取得可能な専門医資格および技能

- 放射線科専門医
- 放射線診断専門医
- 放射線治療専門医
- 核医学専門医
- PET核医学認定医
- IVR専門医
- マンモグラフィ読影認定医
- がん治療認定医

○ 研修コース 本人の希望で決定します

- A：大学病院での研修を中心としたコース
B：大学病院で基礎的な研修をしたのち、連携施設中心に研修するコース
C：大学病院・連携施設での研修と博士号取得を同時に目指すコース

	1年目	2年目	3年目
A	大学病院	大学病院	連携施設
B	大学病院	連携施設	連携施設
C	大学病院 (臨床・大学院)	大学病院 (臨床・大学院)	連携施設 (臨床・大学院)



プログラム達成目標

- 1 画像診断・IVR・放射線治療に関する知識の修得
- 2 安全で質の高い医療を提供する専門技能の修得
- 3 医療人としての倫理観とチーム医療の一員としての姿勢を持つ専門医の育成
- 4 リサーチマインドの育成

経験すべき検査・読影数		経験すべき治療数	
X線単純撮影	400例	IVR	30例
消化管X線検査	60例	放射線治療	30例
超音波検査	120例		
CT	600例		
MRI	300例		
核医学検査	50例		

週間スケジュール

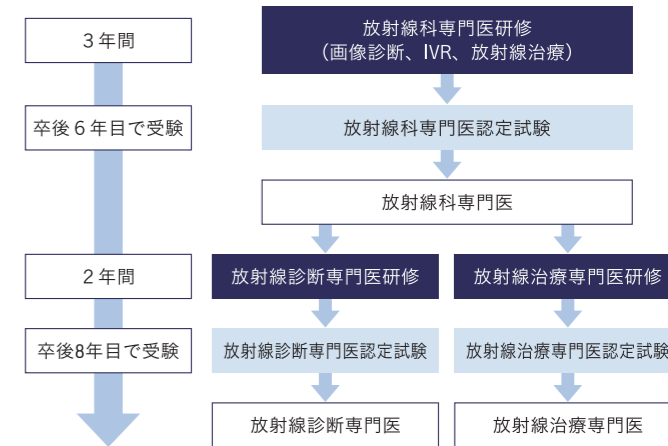
各部門の研修をそれぞれ3～6か月行います。

- 1 脳神経・骨軟部部門
- 2 胸部部門
- 3 腹部部門(IVR)
- 4 核医学部門
- 5 放射線治療部門

(腹部部門の例)

	月	火	水	木	金
午前	CT当番 病棟業務	CT当番 病棟業務	IVR 病棟業務	IVR 病棟業務	CT当番 病棟業務
午後	MRI当番	MRI当番	IVR	医局会・勉強会 病棟カンファレンス	MRI当番
夕方	症例レビュー	症例レビュー	症例レビュー	症例レビュー 救急カンファレンス	症例レビュー

専門医取得までのタイムスケジュール



- CT・MRI当番では、CT・MRI室で読影をしながら、撮影方法の決定・検査前チェック(腎機能・アレルギー・金属など)、造影剤の選択・副作用対応など、安全で適切な検査の実施を担当します。
- 腹部部門にはIVRが含まれ、症例を多く経験し、緊急IVRにも対応します。
- 核医学部門では、放射性同位元素を用いた画像診断や内用療法を担当します。
- 放射線治療部門では、治療計画の設計や、治療中の患者の診察・ケアを行います。
- 毎日、グループごとに、その日の症例の診断・治療に関する振り返りを行い、診断に困った症例や皆で共有すべき症例、若い先生にとって教育的な症例などを、グループのチーフがレビューします。
- 指導医と一緒に入院患者を受け持ち、毎週木曜日の病棟カンファレンスで担当患者に関するプレゼンテーションを行います。
- 毎週木曜日の勉強会では、論文紹介や症例提示を担当します。

指導医からのメッセージ



川野 真嗣

CTやMRI、核医学を中心とした画像診断、CTガイド下生検や各種カテーテル治療を行うIVR、手術をせずに癌を治す放射線治療は、様々な医療を提供する現場において中心的役割を担っており、年々必要性が高くなっています。当科では、将来の宮崎の放射線診療を支える専門医育成に情熱をもって取り組んでいます。若手医師、女性医師も多くライフプラン・キャリアプランに関して相談しやすい環境が整っており、ライフステージの変化や個人の希望・能力に応じた多様な働き方ができる医局です。ぜひ一緒に頑張らしましょう。



山口 朋音

放射線科は裏方的な存在ではありますが、他科の先生方を支える重要な科です。またメインの読影だけでなく、IVR等で治療を行ったりする機会もあり幅広く活躍することも可能です。このように放射線科には様々な可能性があるため、読影に興味がある方にはもちろん、自分の得意分野が分からなかったり興味のある分野が定まらない方にもおすすめできます。実際にローテーションして放射線科の明るい雰囲気を感じて欲しいです。若手医師も多いため気軽に見学に来てください!

先輩からのメッセージ



松村 研吾

放射線科のお仕事は多種多様です。胎児から亡くなった人まで、頭から足の先まで、健診から診断、さらに治療までかわります。新しい検査法や機器もどんどん開発され、無限に広がる世界が待っています。様々な分野を学びながら、日々楽しく研修させていただいています。スタッフの皆さんも含め、やわらかい雰囲気の中でぜひ一緒に楽しみましょう!



新地 康規

自分は初期研修で宮崎大学放射線科をローテーションして、指導医の熱心な教育体制と生き生きとした若手の先生方を見て入局を決めました。また放射線科はDoctor's Doctorと言われる、読影の所見で他科の先生方に貢献できることも魅力だと感じました。実際に来てみないと想像できない職場だと思います。読影はどの科でも必要だし、一ヶ月だけでも読影力が上がります!ぜひ一度初期研修中にローテーション、見学に来てみてください!楽しく盛り上がりましょう!



原 卓也

救急・集中治療から放射線科に転科し、放射線科医5年目となりました。画像診断/IVRを中心に、宮崎の患者さんにより良い医療を提供できるよう日々頑張っています。若手も増え、非常に風通しのよい職場で毎日楽しく働いています。画像診断のニーズは高くなってきており、自分の頑張りやdirectに患者さんに還元でき、やりたい自分、やりたい事を叶えるのに非常に良い職場だと思っています。一緒に宮崎の放射線科を盛り上げていきましょう。



山田 莉奈

救急が忙しい病院で初期研修をしており、CT/MRIをオーダーする機会が多かったのですが、翌日の読影レポートで自分が見つけた所見の何倍もの情報量が返ってきた時に「同じものを見ているはずなのに」と、放射線科医のすごさを実感し専攻を決めました。全ての臓器、年齢を対象にしており非常に奥が深い分野です。また当科では、毎日振り返りの時間があり、自分が読影した症例のフィードバックを診断専門医の先生から直接頂くことができます。先生方もとても優しいので気兼ねなく質問ができる最高の環境です。見学大歓迎ですので、是非一度いらしてみてください。皆さんのことを医局員一同、心よりお待ちしております。

お問い合わせ先

担当：東 美菜子

T E L : 0985-85-2807
F A X : 0985-85-7172
e-mail : minako_azuma@med.miyazaki-u.ac.jp

放射線科HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/radiology/



内科
小児科
皮膚科
精神科
外科
形成外科
整形外科
テラビシオン科
産婦人科
眼科
耳鼻咽喉科
泌尿器科
脳神経外科
放射線科
麻酔科
病理
臨床検査
救急科
総合診療

麻酔科専門研修プログラム

家庭も仕事も大事にしたいから、
麻酔科いいんじゃない・・・



責任者からのメッセージ

麻酔科
科長 恒吉 勇男



当医局は、麻酔科としてプロフェッショナルになることはもちろんですが、そのために家庭生活がおろそかになるような不都合は認め

ません。家庭あってのお仕事です。仕事の満足度、収入、家庭に奉仕する時間、それらをバランスよく得られるように最大限配慮しています。

プログラムの特徴

九州各県の代表的な研修施設と連携し、幅の広い研修を積むことができます。もちろん、宮崎大学でも豊富な症例がありますので、立派な麻酔科医に成長することは確約します。4年目に専門医を受験します。集中治療やペインクリニックなども研修できます。

募集定員 10名
研修期間 4年

連携施設名等

施設名	指導医	専門分野・特徴
宮崎大学医学部附属病院	恒吉 勇男 教授、他17名	麻酔、集中治療、ペインクリニック
連携施設 A	県立宮崎病院、県立延岡病院、宮崎県医師会病院、潤和会記念病院、地域医療機能推進機構 宮崎江南病院、国立病院機構 都城医療センター、都城市医師会、神戸大学附属病院、労働者健康安全機構神戸労災病院、産業医科大学病院、九州労災病院、北九州総合病院、JCHO九州病院、九州大病院、九州医療センター、市立こども病院、福岡総合病院、福岡大病院、福岡大学筑紫病院、久留米大病院、久留米大学医療センター、大牟田市立病院、聖マリア病院、北九州市医療センター、琉球大学医学部附属病院、那覇市立病院、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	
連携施設 B	県立日南病院、筑紫市立病院、福岡県赤十字病院、福岡東医療センター	

専門連携施設 A：研修プログラムの中核的な施設として十分な臨床実績と指導体制を有する施設

専門連携施設 B：必要に応じて部分的な補充が出来る施設

取得可能な専門医資格および技能

- 麻酔科専門医
- 集中治療専門医
- ペインクリニック専門医
- 緩和ケア専門医
- 区域麻酔専門医
- 老年麻酔専門医
- 心臓血管麻酔専門医
- 小児麻酔専門医



プログラム達成目標

昨今、麻酔科は専門性を高め、高度医療には欠かせない診療科となっています。麻酔科ニーズは、宮崎ではとても高いものがありますので、将来にわたって不安なく就労することも出来ます。さらに、ペインクリニック、集中治療、緩和ケアなどのサブスペシャリティを修得すると、さらに魅力的な麻酔科医に成長することが出来ます。

主要症例名と実績数

症例	実績数
総手術件数	6,055例
麻酔科管理症例	4,395例
集中治療室	867人

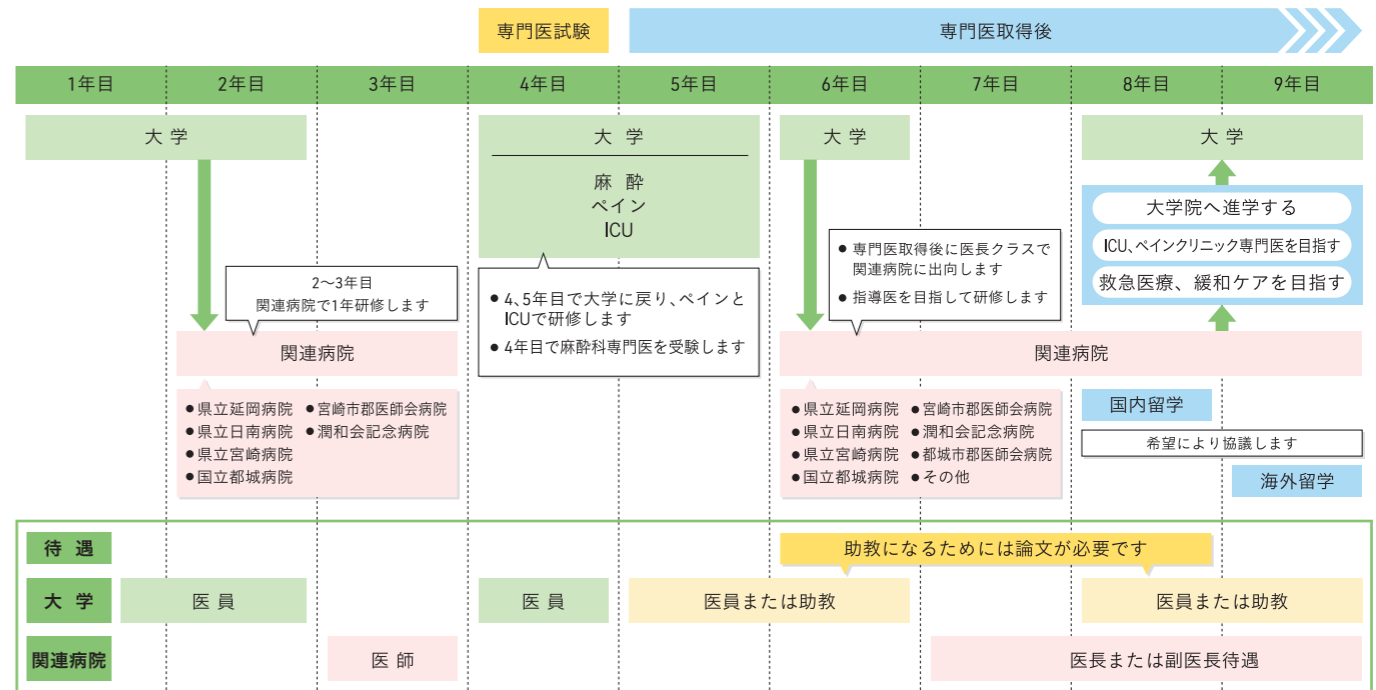
大学病院実績 (R2)

専門医取得までのタイムスケジュール

はじめの2年間は大学にて麻酔研修を行います。基本的な麻酔症例から、2年目には食道がんや心臓手術などの高度な手術の麻酔管理を行い、麻酔全般を満遍なくこなすことで、麻酔科医として一通り完成します。その後1～2年は関連病院に出向し、緊急手術をはじめとして第一線で様々な症例を経験することで、独り立ちできる自信を身に着

けます。4～5年目は、大学にてペインクリニックや集中治療を研修する傍ら、麻酔科専門医試験を受験します。その後は、麻酔の指導医を目指して麻酔を極めるなり、集中治療やペインクリニックの専門医を目指します。また大学院に入学し、学位取得を目指して研究に勤しむこともできます。その先には、夢の海外留学も待っています。

宮崎大学麻酔科 後期研修医研修プログラム



週間スケジュール (宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金	土	日
AM			手術室				休み
PM			手術室				休み
当直			当直				当直

指導医からのメッセージ

麻酔科医としてどこでも通用する高い技術レベルを指導します。医局も明るく朗らかで、いい人ばかりです。いわゆるブラックな人はいませんので、安心して仕事に打ち込むことができます。麻酔科医としての成長に終わりはありません。麻酔科は、クオリティーオブライフを保ちつつ自己研鑽に努めたい方には是非ともお勧めできる診療科です。心より、お待ちしております。

先輩からのメッセージ

入局を考えている方がいらっしゃいましたら、ぜひ病院見学に来てください。見学に来られた際には、もっといろんなお話ができるかと思いますので、ぜひ見学だけでも来てください。

お問い合わせ先 TEL: 0985-85-9357

担当: 石山 健次郎 e-mail: kenjiro-ishiyama@med.miyazaki-u.ac.jp

麻酔科 HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/masui/



病理専門研修プログラム

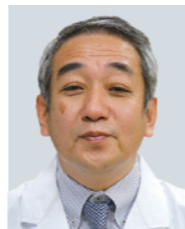
信頼され、求められる病理医を一緒に目指そう！

募集定員
2名

研修期間
3年



責任者からのメッセージ



病理診断科科長
佐藤 勇一郎

宮崎大学附属病院病理診断科では、全科・全領域にわたり、病理診断をしています。指導医とマンツーマンで、マクロ・ミクロの病理標本をみながら、基礎的な標本の見方から希少症例や難しい症例の診断まで経験することができます。病理解剖も執刀医として行い、全身臓器の病理所見、さらに患者様の全体像をとらえる重要なトレーニングがとれます。宮崎県内の連携施設、病理医との関係が強く、連携施設での研修も可能です。学会活動や研究も積極的に行っており、日本病理学会や九州沖縄支部スライドカンファレンスにも参加、発表、論文発表も行っています。宮崎県内の病理医も少しずつ増えています。宮崎大学で、一緒に病理医としてのトレーニングをつんでみませんか。

プログラムの特徴

- 1 全領域にわたる豊富な症例を指導医とともに経験できる。
- 2 各診療科とのカンファレンスがおこなえる。
- 3 執刀医として病理解剖を行い、全身臓器に精通できる。
- 4 宮崎県内全ての病理医から指導が可能で、連携施設での研修も可能。
- 5 病理学会、九州・沖縄支部スライドカンファレンスにも積極的に参加、発表、論文作製も行える。

取得可能な専門医資格および技能

病理専門医：病理解剖、生検、術中、手術材料の病理診断、細胞診断が早く正確な診断が行える。
解剖資格医：解剖を安全にかつ正確に行える技能を身につける。
細胞診専門医：細胞診断を正確に行い、細胞診技師を指導できる。
分子病理専門医(新規)：分子病理に精通、病理検体の管理・提供、遺伝子解析が行える。

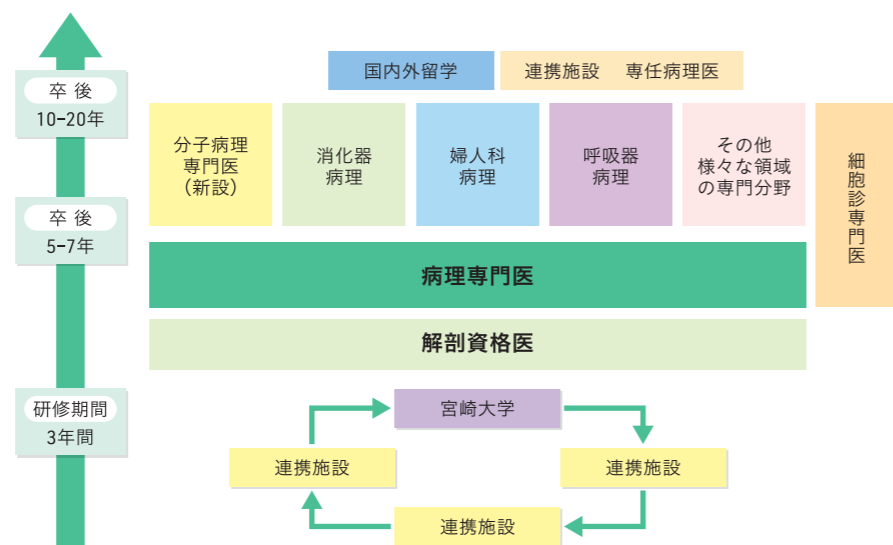
連携施設名等

	施設名	指導医
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	佐藤 勇一郎 病理部部长、他6名
連携施設1群	県立宮崎病院、防衛医科大学校病院、公益財団法人がん研究会有明病院、宮崎市郡医師会病院	
連携施設2群	県立延岡病院、県立日南病院、潤和会記念病院、宮崎善仁会病院	
連携施設3群	古賀総合病院、地域医療機能推進機構 宮崎江南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構 都城医療センター、藤元総合病院	

連携施設1群・・・複数の常勤病理専門指導医と豊富な症例を有しており、専攻医が所属し十分な教育を行える施設
 連携施設2群・・・常勤病理専門指導医がおり、診断の指導が行える施設
 連携施設3群・・・病理指導医が常勤していないが、基幹病院から定期的に指導医が派遣されている施設

専門医取得までのタイムスケジュール

本プログラムでは、宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、3年間は専門研修連携施設をローテートして病理専門医資格の取得を目指します。連携施設と併せて年間50例以上の剖検数があり、組織診断も27,000件程度あるため、病理専門医受験に必要な症例数は余裕を持って経験することが可能です。研修終了後1年間は基幹施設または連携施設において引き続き診療に携わり、研修中に不足している内容を習得します。宮崎大学に在籍する場合には研究や教育業務にも参加していただけます。専門医資格取得後も引き続き基幹施設または連携施設において診療を続け、サブスペシャリティ領域の確立や研究の発展、あるいは指導者としての経験を積んでいただきます。本人の希望によっては留学(国内外)や連携施設の専任病理医となることも可能です。



プログラム達成目標

病理専門医は病理学の総論的知識と各種疾患に対する病理学的理解のもと、医療における病理診断(剖検、手術標本、生検、細胞診)を的確に行い、臨床医との相互討論を通じて医療の質を担保するとともに患者を正しい治療へと導けることを目標とする。生検、術中病理診断、手術材料の診断においては、診断が比較的容易で症例数の多いものからはじめ、希少症例、難解症例では鑑別診断をあげられるようにする。剖検では、執刀からCPC、および報告書作製まで行い、全身臓器に精通し、症例をまとめる能力を身につける。

日課タイムスケジュール

時間	病理診断当番	解剖当番
AM	生検・手術検体診断	病理解剖
PM	指導医による診断内容チェック	追加検査提出、症例まとめ記載
	手術材料 切出	

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

月	火	水	木	金
産婦人科合同カンファレンス	外科カンファレンス	産婦人科術前カンファレンス	神経放射線病理カンファレンス	解剖症例肉眼チェック
頭頸部カンファレンス(隔週)	泌尿器科カンファレンス(隔週)	骨髄生検カンファレンス	外科病理抄読会	
呼吸器カンファレンス(隔週)	腎生検カンファレンス	CPC	研究検討会	

指導医からのメッセージ



盛口 清香

皆さんが思う病理医って、どんな感じでしょうか？ 華やかさはありません。患者さんに、ありがとうと言われることも、ほとんどありません。地味と言えば地味です。でも、私が顕微鏡をみて下した診断が、患者さんの治療に繋がると思うと、気が抜けない、重要な仕事だと誇りに思っています。そんなお仕事、一緒にやってみませんか？

先輩からのメッセージ



都築 諒

病理診断科で専門医研修2年目の都築です。学生時代はあまり病理に興味が無く、漠然とムズカシイものという印象でした。研修医の時に病理をローテーションした際に、診断病理を経験することで、病理の魅力に引き込まれました。ただ組織所見を見つけるだけでは無く、なぜそのような組織像になったのか、考えることは非常に面白いです。また上級医とのディカッションでまた新たな解釈を学ぶことができ、成長が実感できます。嗜めば嗜むほど味が出てきます。他にも病理医の魅力があり、ベッドフリーなので時間の融通が効きます。仕事とプライベートを両立したく、顕微鏡で見ることにアレルギーがない方は向いていると思います。病理医も選択肢として如何でしょうか？

主要症例名と実績数

症例	実績数
組織診断	約25,000
術中迅速診断	約1,300
細胞診	約30,000
病理解剖数	約60

梅北 佳子



もともと臨床医志望でした。学生時代の病理学の授業や試験は記憶にないです。私にとって病理とは、そのくらい縁遠い世界でした。研修医時代、同期が病理を選択していたので、つられて私も選択してみました。それが運命の出会いです。意外に自分に合っていることに気が付き、入局、今に至ります。病理診断の楽しさを短い文章でお伝えするのは難しいです。少しでもご興味があれば、まずは一カ月、病理診断科で研修してみましよう！

黒木 麻由



専門医研修1年目の黒木です。学生時代に研究室配属をきっかけに病理に興味を持ち、入局するに至りました。病理に対する印象を聞いてみると多くの学生や先生方から「難しそう」「試験が厳しかった」「よく分からない」といった声をよく耳にします。一般の方からもあまり知られていないというのが実情です。しかし最近では漫画の題材になったほか、芸能人の発言で取り上げられたことにより少しずつ知名度を得てきています。どんなきっかけであれ、病理について知り、興味を持っていただけたら嬉しいです。一緒に病理医として働く仲間が増えることを心待ちにしています。

お問い合わせ先

担当：佐藤 勇一郎
 TEL：0985-85-2809
 FAX：0985-85-2809
 e-mail：yuichiro_sato@med.miyazaki-u.ac.jp

病理HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/pathology/



内科
小児科
皮膚科
精神科
外科
形成外科
整形外科
テリハビョン科
産婦人科
眼科
耳鼻咽喉科
泌尿器科
脳神経外科
放射線科
麻酔科
病理
臨床検査
救急科
総合診療

臨床検査専門研修プログラム

医療全体を臨床検査から俯瞰できる専門医

募集定員
1名

研修期間
3年

責任者からのメッセージ



検査部
部長 梅北 邦彦

臨床検査はEvidence Based Medicineにおける客観的な指標として、診療にかかせないものです。臨床検査の全般において、その品質の向上と維持に努め、適切かつ信頼性の高いサービスを通して良質で安全な患者診療に貢献する専門医が臨床検査専門医です。臨床検査専門医は臨床検査医学、臨床医学全般に関わる総合的な科学者と位置づけられます。この学際的な側面は、診療だけでなく研究にも参画できる能力を発揮することになります。

プログラムの特徴

初期臨床研修後すぐに専攻医となるのはもちろんのこと、他領域で経験を積んだ後に当該専門領域のキャリアを踏まえて、より検査診断に特化した力量と資質の習得を目指すこと(セカンドキャリア)も可能です。臨床経験豊富な他基本領域専門医取得者には、初期臨床研修修了後の専攻医と同じプログラム制の研修はそぐわないと考えられ、この場合は、カリキュラム制の研修を行うことを可能とします。カリキュラム制とは、研修の形態の詳細は問わず、到達目標を達成すれば認定試験受験資格を与えるものです。

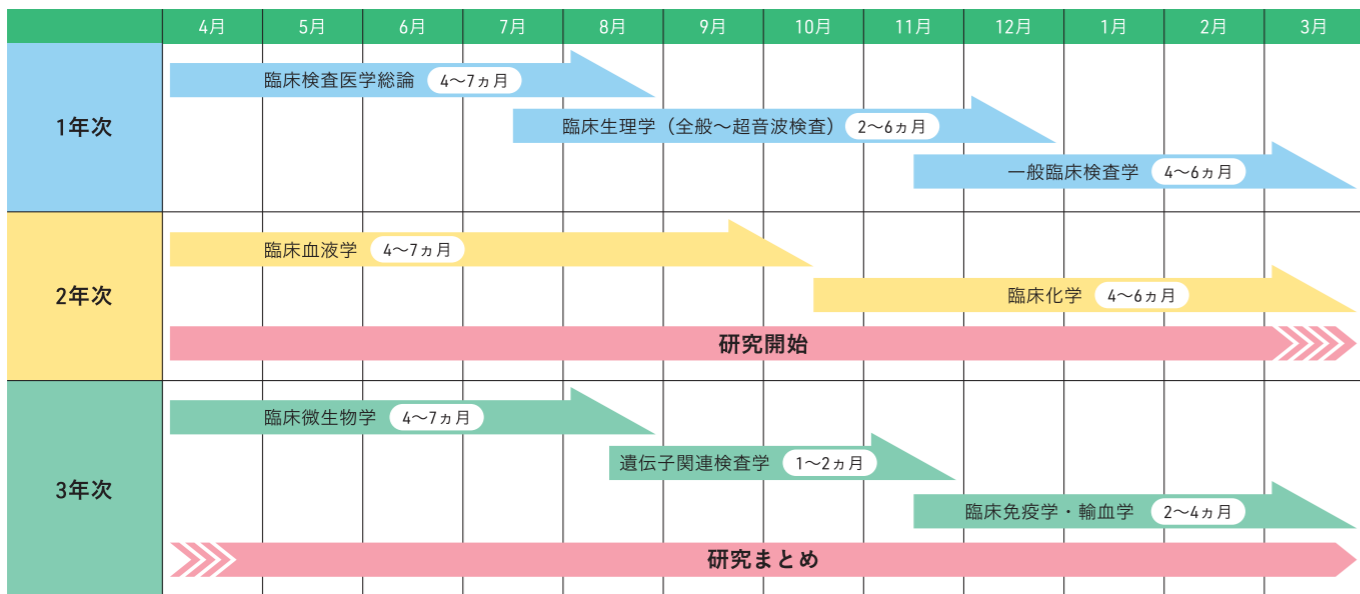
取得可能な専門医資格および技能

臨床検査専門医の資格を取得できます。臨床検査専門医のSubspecialty領域は現時点ではまだ決まっていません。想定される専門医には、感染症専門医、超音波専門医、臨床遺伝専門医、人間ドック健診専門医、消化器内視鏡専門医などがあり、どれも本研修と連続性を持った追加の研修が可能です。

専門医取得までのタイムスケジュール

まず日本臨床検査医学会に入会していただき、プログラム制ではストレート研修、カリキュラム制では、その方の希望に応じた研修スケジュールを相談して決めます。

以下はプログラム制の例です。3年間の研修を5年かけてゆっくり研修するコースなども設計できますので、ご相談ください。



プログラム達成目標

以下の項目達成をプログラム制では3年間の目標とします。

- 1 経験すべき臨床検査として、臨床検査医学総論、一般臨床検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学・輸血学、遺伝子関連検査学、臨床生理学があります。
- 2 報告書の作成とコンサルテーションへの対応として、臨床検査の報告書作成、施設内のチーム医療活動への参加、コンサルテーション対応などがあります。
- 3 検査データカンファランス(RCPC: reversed clinico-pathological conference)に参加します。
- 4 宮崎県で行われる地域の検査事業に参加します。また臨床検査専門医資格を受験するためには臨床検査医学(臨床病理学)に関する筆頭者としての原著論文、または学会報告が3編以上あること(ただし、そのうち筆頭者としての原著論文が少なくとも1編以上あること)が必要です。

主要症例名と実績数

- 1 臨床検査医学総論：外部精度管理(日本医師会、日本臨床衛生検査技師会、CAPなどが実施)の成績(3回以上)。
- 2 一般臨床検査学・臨床化学：内部精度管理(10項目以上について。各項目は1回以上)。パニック値を含めた異常値症例(10項目以上について。各項目は3回以上)。
- 3 臨床血液学：内部精度管理(5項目以上について。各項目は1回以上)。パニック値を含めた異常値症例(5項目以上について。各項目は3回以上)。病的末梢血液像、病的骨髓像についてはあわせて10例以上。
- 4 臨床微生物学：一般細菌培養(グラム染色所見を含む)により起原因菌同定と薬剤感受性試験が行われた症例(10例以上)。抗酸菌培養、抗酸菌塗抹検査が行われた症例(3例以上)。
- 5 臨床免疫学・輸血学：内部精度管理(5項目以上について。各項目は1回以上)。パニック値を含めた異常値症例(5項目以上について。各項目は3回以上)。血液型判定(変異型も含む)、クロスマッチ、不規則抗体検査が行われた症例(3例以上)。
- 6 遺伝子関連検査学：血液造血器腫瘍、悪性腫瘍、薬物代謝に関連した遺伝子、または遺伝性疾患の遺伝子診断が行われた症例(2例以上)。
- 7 臨床生理学：超音波検査(5例以上)、心電図検査(5例以上)、呼吸機能検査(2例以上)、神経・筋関連検査(2例以上)。超音波検査は実施したものとす。

週間スケジュール

下の例は臨床生理学(特に超音波検査)の研修を優先させる場合について記載します。

○ 超音波検査集中研修時

時間	月	火	水	木	金
午前	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修	指導医による指導・自己学習
午後	超音波検査研修				
夕方	臨床科カンファランス	臨床検査科カンファランス	臨床検査科勉強会	研究カンファランス	自己学習またはRCPC

○ 超音波検査研修修了後

時間	月	火	水	木	金
午前	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修・業務	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修・業務	指導医による指導・自己学習
午後	検査室研修・検体検査診断業務				
夕方	臨床科カンファランス	臨床検査科カンファランス	臨床検査科勉強会	研究カンファランス	自己学習またはRCPC

指導医による指導・自己学習

検査室以外の場所(医局、研修室など)での研修です。指導医や上級検査技師によるミニ講義、過去の検査報告書・教材の自己学習、研修レポートの作成などを行います。

検査室研修・検体検査診断業務

検査室における研修で、検査の実施、見学、判定、報告書作成などを行います。研修が修了している検体検査科目は診断業務を行います。例えば、血液検査の研修が修了していれば骨髓像検査の報告書作成を行います。

お問い合わせ先 TEL: 0985-85-7284
FAX: 0985-85-4709
担当: 梅北 邦彦 e-mail: kunihiko_umekita@med.miyazaki-u.ac.jp

救急科専門研修プログラム

病院前から集中治療まで管理できる
General Emergency Physicianを目指す！

募集定員 7名
研修期間 3年



責任者からのメッセージ

救急科
教授 落合 秀信



本プログラムは、ドクターヘリやドクターカーなどによる病院前救急診療から、ER型救急、救急集中治療、重症多発外傷、そして精神科

の関連する救急医療まで幅広く研修することにより、いつでもどこでも地域のニーズやシステムに応じ即戦力となって救急医療を展開できる、“救急科の総合医”を育成することを目的としています。それと同時に、地域から世界へ情報発信できる“academic emergency physician”の育成も目的としています。

“いつでもどこでも地域に根差した高度な救急医療の提供”と“世界を視野にいたれた情報発信”を合言葉と一緒に研鑽していきませんか？

プログラムの特徴

本研修プログラムは、重篤な多発外傷、内因性疾患、特殊な中毒疾患、重症熱傷について、初期治療から集中治療まで継続して診療し、重症患者の初期対応や全身管理について学ぶことができます。また、ドクターヘリ、ドクターカー等の病院前救急診療や災害医療を学ぶ体制も充実しています。救命救急センター内に救急初療室を忠実に再現したシミュレーション室や病院前救急診療の研修に特化した救急車カットモデルを有しており、教育体制についても十分に整備されています。また特殊な教育的試みとして解剖体を用いた救急手技トレーニングシステムを構築しており、経験する頻度の少ない重要手技について解剖体を用いて修練を積むことも可能です。



救急科専門研修プログラム紹介



連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	落合 秀信 教授、他15名	三次救急医療施設、基幹災害拠点病院、災害拠点病院、ドクターヘリ、ドクターカー配備、地域MC協議会中核施設
連携施設	県立宮崎病院、宮崎善仁会病院、都城市郡医師会病院、県立延岡病院、宮崎市郡医師会病院、小林市立病院		
関連施設	高千穂町国民健康保険病院、椎葉村国民健康保険病院、美郷町国民健康保険西郷病院、串間市民病院		

取得可能な専門医資格および技能

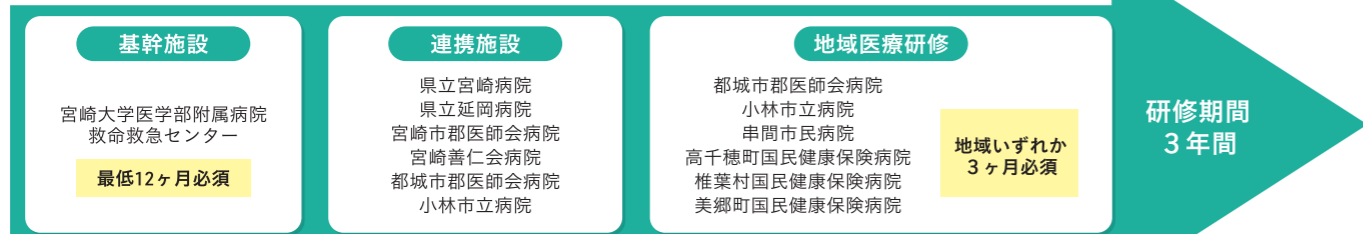
救急科専門医を取得することができます。救急科領域の専門研修中における、研修プログラムで示した集中治療領域の専門研修に関しては、サブスペシャリティ領域の集中治療専門医修練としてみなすことができます。他にもサブスペシャリティ領域として、感染症専門医、熱傷

専門医、外傷専門医、脳卒中専門医、消化器内視鏡専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医、脳神経外傷専門医、透析専門医への連続的な育成が配慮されます。その他、ICLSやJATEC、JPTECなど救急系教育コースのインストラクターを目指して頂きます。

専門医取得までのタイムスケジュール

原則として、3年間の研修期間中、基幹施設での研修期間を最低12ヶ月必須とし、連携施設である県立宮崎病院、県立延岡病院、宮崎善仁会病院、宮崎市郡医師会病院、都城市郡医師会病院、小林市立病院のいずれかでの研修を3～6ヶ月必須とします。地域医療の研修として、小林市立病院、都城市郡医師会病院、串間市民病院、高千穂町国民健

康保険病院、椎葉村国民健康保険病院、美郷町国民健康保険西郷病院のいずれかでの研修を最低3ヶ月必須とします。残りの期間については専攻医の希望を尊重しつつ、地域の救急医療体制を鑑みたスケジュールで研修を行います。



※残りの期間は基幹施設および連携施設で研修を行います

プログラム達成目標

専門研修後の成果として掲げた能力を十分に備えるために、知識・技能、学問的姿勢と医師としての態度を目標とします。救命処置、診療手順、診断手技、集中治療手技、外科手技については定められた項目の症例、手技などを定数経験することで専門技能を修得します。また、学会・研究会などに積極的に参加、発表し、論文の執筆が義務付けられています。

主要症例名と実績数

- 救急症候に対する診療 : 21項目、各3症例まで。
 - 急性疾患に対する診療 : 8項目、各3症例まで。
 - 外因性救急に対する診療 : 15項目、各3症例まで。
 - 小児、特殊救急に対する診療 : 6項目、各3症例まで。
 - 重症患者に対する診療 : 10項目、各3症例まで。
- 経験すべき手術(救急手技)・処置はおよそ35項目定められています。
例) 心拍再開後の集中治療経験必須5例、緊急気管挿管経験必須3例

週間スケジュール (宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	診療科カンファレンス チーム回診	診療科カンファレンス 教授回診 チーム回診	診療科カンファレンス 勉強会 (抄読会、レクチャー、 症例検討等)	休 暇	診療科カンファレンス 教授回診 チーム回診	診療科カンファレンス チーム回診	休 日 (月5回)
午後	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療	当直・ドクターカーによる診療 (※月5回程度のシフト制)	休 暇	入院患者診療	
夕方			専攻医勉強会 シミュレーション教育 (月2回程度)	放射線科 合同カンファレンス (週1回)			

※ 救急外来診療、ドクターヘリによる診療(※月4～5回の当番)



指導医からのメッセージ



教育医長 佐々木 朗

当センターの専攻医教育の特徴として、専攻医1年目を「チームリーダー＝主役」としており、指導医の手厚いサポートのもとで診療方針を決定してもらいます。日々の診療で湧き出てくる臨床疑問を専攻医が主体的に調べ、さらにアウトプットできる教育を意識しています。ドクターヘリにも専攻医1年目から指導医とともに搭乗してもらい、早期から病院前診療に対する教育を受けることができます。また、大学病院以外の救急関連施設をローテートし、ER型救急、ドクターカー、地域救急医療の研修も受けてもらいますので、救急医療を行う施設や場所を問わず、即戦力として宮崎県の救急医療に貢献できる救急医を育成する教育体制が揃っています。

先輩からのメッセージ



専攻医 井之上 晃

本プログラムでは1年目は大学病院の救命救急センターで研修し、2年目以降で地域の複数の基幹病院で研修を行います。大学病院では屋根瓦式の指導体制の下チームリーダーとして最前線で重症患者の初期診療や集中治療管理を行い、2年目以降は基幹病院で研修を行い、軽症から重症まで多岐にわたる患者を診療し、地域医療の一端を担いながら研鑽を積むことができます。初めのうちは慣れないことが多く、上手いかないこともありますが、上級医の先生の手厚い指導により、重症患者を救命するための力を身につけることができるプログラムになっています。

お問い合わせ先

担当：長野 健彦

T E L : 0985-85-9547
F A X : 0985-85-9105
e-mail : takehiko_nagano@med.miyazaki-u.ac.jp

救急科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/kyumei/index.shtml>



内科
小児科
皮膚科
精神科
外科
形成外科
整形外科
テラピシヨソ科
産婦人科
眼科
耳鼻咽喉科
泌尿器科
脳神経外科
放射線科
麻酔科
病理
臨床検査
救急科
総合診療

ALL MIYAZAKIでつくる 地域医療を支える医療人のためのプログラム 総合診療専門研修プログラム

募集定員 **6名**
研修期間 **3年**



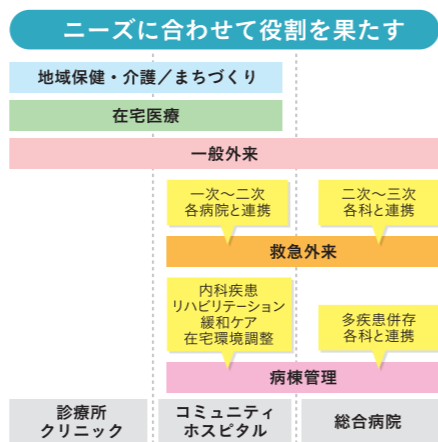
責任者からのメッセージ

地域包括ケア・総合診療医学講座
特別准教授 **桐ヶ谷 大淳**
地域医療・総合診療医学講座
教授 **吉村 学**

地域で暮らす人々にとって役に立つ医師として活躍してみませんか。幅広く深い臨床能力と心優しいマインドを備え、そして様々な人とコラボ、地域に暮らす人々の生活を支え、よりよい街づくりにも貢献できる専門医、それは総合診療医、家庭医とも呼ばれます。日本では出来たての専門医ですが、知識・技能・態度それぞれに領域別専門医とは違った専門性を持ち、世界ではこうした医師こそヘルスケアの基盤を担っている重要な存在です。宮崎で、そしてオール宮崎で育てようとしています。新しいからこそ、ワクワクする道が待っています。ぜひ飛び込んでください。全力で育成します！

プログラムの特徴

2021年度よりALL MIYAZAKI体制として宮崎県内の熱い総合診療医が揃い、今までバージョンアップした指導体制でプログラム運営しています。2020年4月に寄附講座の設置された都農町/都農町国民健康保険病院が基幹施設となり、大病院での病院総合医(ホスピタリスト)と中小病院での家庭医療(家庭医)という総合診療の2軸をしっかりと学ぶことができます。県内3つのプログラムとも協働し、県央地区での研修も強化し研修先の選択肢の幅が広がりました。Web会議を利用した勉強会、教育コンテンツの増強、海外専攻医(タイPSU他)との交流を行い、総合診療ならではの専門性を身につけていきます。プログラム修了後も多彩なキャリアプランを用意しています。



専門医取得までのタイムスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	総合診療Ⅱ						内科					
	古賀総合病院						県立宮崎病院					
2年目	内科						救急			小児		
	県立宮崎病院						県立宮崎病院			宮崎生協病院		
3年目	総合診療Ⅱ						総合診療Ⅰ					
	宮崎生協病院						都農町国民健康保険病院					

プログラム達成目標

患者の縦断的、横断的なマネジメントおよび、医療、介護、福祉との連携を実践することができ、研修修了時には地域包括ケアを実践する能力が習得できます。

- 日常に多く遭遇する疾病や傷害に対する初期対応能力を習得する
- 地域で対応が求められる各診療科のコモンディーズには、専門医へのコンサルトの見極めを含め対応できるようになる
- 地域で生活する患者の情報を、多職種で共有して解決するスキルを習得する
- 患者の診断や治療まで積極的にを行い、かつ患者の生活背景を考えた退院後のマネジメントができるようになる
- より複雑な症例や患者の問題点を多職種連携で共有し、解決できるようになる

主要症例名と実績数

都農町国民健康保険病院総合診療科

入院症例数5-10名程度、外来は半日10-20名前後(新患含む)、在宅患者数名を担当しながら、入院・外来・救急・在宅と多様な診療の場での診療を行います。

コモンディーズ、多疾患合併症例、下降期慢性疾患の対応、複雑困難事例、緩和ケア・終末期など多彩な症例を経験、総合診療科のコアスキルを研鑽しながら修得します。他にも小児・思春期から高齢者まで、リハビリテーションやメンタルヘルス、予防医学など多岐にわたる分野を、他の領域別専門医や多職種などと連携しながら経験できます。

プログラム紹介動画を作成しました。
詳しくはこちら



連携施設名等

ALL MIYAZAKIプログラム

総合診療 18ヶ月 + 内科 12ヶ月 + 小児科 3ヶ月 + 救急科 3ヶ月

1 都農町国民健康保険病院 (総合診療、小児)

幅広い疾患、在宅医療 / 緩和ケア、内視鏡
学生教育 / まちづくり・地域保健

2 古賀総合病院 (総合診療)

3 宮崎生協病院 (総合診療、小児)

4 県立宮崎病院 (内科、救急、小児)

多疾患併存の病棟管理 / 診断困難症例の外来
内科専科トレーニング

以下も選択可能

- 5 宮崎大学附属病院(救急)
- 6 県立延岡病院(救急)
- 7 都城市郡医師会病院(救急)
- 8 高千穂町国保病院(小児、総診、内科)
- 9 県立日南病院(内科、総診)
- 10 宮崎市立田野病院(総診)
- 11 小林市立病院(総診)
- 12 美郷町国保西郷病院(総診)
- 13 椎葉村国保病院(総診)
- 14 おおつか生協クリニック(総診)
- 15 和知川原生協クリニック(総診)
- 16 このはな生協クリニック(総診)
- 17 串間市民病院(総診)
- 18 西米良診療所(総診)
- 19 ホームクリニックみまた(総診)



キャリアや希望に合わせて
調整可能な3年間

取得可能な専門医資格 および技能

- 総合診療専門医
- 新・家庭医療専門医
- 在宅医療専門医

- 1 外来、救急、病棟、在宅という多様な診療の場において、全人的、包括的かつ継続的に医療を展開できる能力
- 2 患者中心の医療面接から、患者を取り巻く家族、地域社会、文化などを理解するコミュニケーション能力
- 3 地域のニーズに沿って、必要な医療技術を習得できる能力
- 4 限られた人材、医療資源を用いて、適切な医療をスタッフと協同行うリーダーシップ能力



指導医からのメッセージ



早川 学

私は“最強の総合診療医”になることを目指しています！
私の中で“最強”とは、診療所・在宅医療～総合病院までどんな規模の医療機関でも働く能力を有し、医学生～初期研修医・専攻医のどんな学年にも適切な指導が可能で、学会発表や論文執筆もきちんと行い、その指導もできる医師をイメージしています。もちろん私自身もまだまだ“最強”への道のりは遠いのですが、我々はそのような医師になることが可能となる、素晴らしいプログラムを用意しています。ぜひ一緒に“最強の総合診療医”を目指しませんか？ お待ちしています！

先輩からのメッセージ



梶田 一旭

『患者さんの力になりたい』医師を志す者であれば共通する想いを、臓器によらず、年齢によらず、働く場所によらず、発揮したいと思う方に適切な専攻医研修だと思えます。プライマリ・ケア、病む人が最初に医療の門戸をたたく最前線で、common diseaseや救急医療において適切な医療を提供する事、場合によっては専門科への適切な道筋をたてる事、また、治療のみならず予防医療を行う事、医療以外の介護や福祉、社会的な問題が絡んだコンプレックスケースにも多職種と連携して解決策を探る事。将来どの様な道を志そうとも医師として基礎・コアとなるスキルを習得することができる充実した3年間でした。



枝元 真人

専攻医1年目は串間市民病院で救急外来・一般外来・急性期病棟管理・在宅医療と幅広く携わることができました。救急外来で出会った患者さんを病棟で入院管理し、自分の外来で付き合っていたり、在宅で看取ったりと、一人一人の患者さんにとことん付き合っていく楽しさがあります。また、院内の勉強会を開いたり、地域の座談会に足を向けたりと、「患者・病院・地域をより良くするために、やろうと思ったことは何でも自分の仕事にできる」土壌があり、それを支えてくれる指導医がいる恵まれた環境です。1つの診療科にこだわらず、患者さんや地域を丸ごと支えてみたいという方にお勧めできるプログラムになっています。

ぜひこの分野のパイオニアに！熱いです。熱い地域医療と一緒に燃えてやろう。

お問い合わせ先

担当：吉村 学

T E L : 0985-85-9809

F A X : 0985-85-9805

e-mail : chiikiryo@med.miyazaki-u.ac.jp

総合診療科 HP

https://chiikiryo-miyazaki.jp/



○ 宮崎大学専門研修プログラム専攻医(医員)の処遇について

専門研修プログラム専攻医の身分	非常勤医師(医員)					
専門研修プログラム専攻医の給与	宮崎大学医学部附属病院の就業規則に準じて給与が支払われます。詳細は、お問い合わせください。					
	賞与	無	時間外手当	有	宿日直手当	有
勤務時間	月曜～金曜 8時30分～17時15分(週38.75時間勤務)					
休暇	有給休暇	1年次 10日(2年次以降は非常勤就業規則に準じて増えます。)				
	特別休暇の有無	有(夏季休業、リフレッシュ休暇、産前産後休暇等)				
	その他の休暇	無給休暇(病気休暇)				
宿舎	専門研修プログラム専攻医(医員)は、宮崎大学が所有している宿舎に入居することができる。(状況により入居できない場合があります。)					
社会保険及び労働保険	公的医療保険	文部科学省共済組合				
	公的年金保険	厚生年金保険				
	労働者災害補償保険の有無	有	雇用保険の有無	有		
健康管理	健康診断	年1回実施				
	その他	特殊健康診断・特別定期健康診断(該当職種者の場合)、臨時健康診断(必要がある場合)				
医師賠償責任保険の取り扱い	医師賠償責任保険の加入は、大学病院で加入。					
兼業	可					
保育園	院内保育園あり(くすの木保育園)					

※ 専門研修連携施設等に在籍期間中は、各病院の待遇によります。

○ 宮崎大学医学部附属病院施設紹介

くすの木保育園

病院前宿舎敷地内に宮崎大学に勤務する職員の乳幼児を預かる「くすの木保育園」があります。週2日の24時間保育、延長保育、一時預かり、病後児保育も行っていきます。

	保育時間
基本保育	月～土 7:00 - 19:00
延長保育	月～土 19:00 - 22:00
終夜保育	火・木 22:00 - 翌7:00



子育て応援します! 勤務に合わせてご利用ください。

就学児一時預かり室

木原職員宿舎F102に、清武キャンパス職員が保護者である小学生を対象とした「就学児一時預かり室」があります。

- 開設曜日と時間
月～金(祝日は除く) 17:00～19:30

- 対象
清武キャンパス職員が保護者である小学生(本預かり室に慣れるため小学校入学前の利用可。)



宮崎大学附属図書館医学分館(清武キャンパス)

1階は、オープン学修スペース・ラーニングcommons。2階は静かに集中して学習できるキャレル、e-ラーニングルームなどを完備。医学系の専門書などのべ12万3,000冊以上の蔵書を揃え、多様化する“学びの形”を支えるため広く活用されています。

	月～金	土・日	祝・休日
通常期	9:00 - 20:00	13:00 - 17:00	休館
休業期	9:00 - 17:00	休館	



○ 仕事も趣味も充実! 理想のワークライフバランスを実現!

宮崎県では、サーフィン、ゴルフ、スキー、スノーボードなどアクティブなスポーツを楽しむことができます。仕事を忘れるくらい没頭できる趣味も宮崎ではじめてみませんか。

スキー・スノーボード

日本最南端の天然スキー場です。スノーボードも全面滑走可能で雪質も良く、毎年たくさんのスキヤー・スノーボーダーで賑わっています。



ゴルフ

南国ならではの一年中温暖な気候のため、冬場でも緑の芝が美しく映えるなど、一年を通して最高の環境でゴルフが楽しめます。



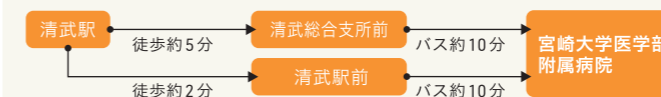
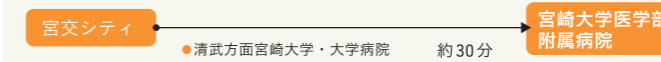
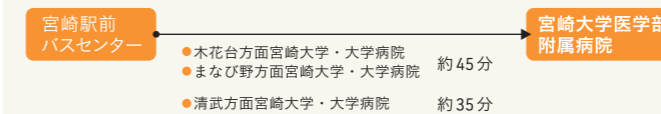
サーフィン

県北の日豊海岸から南国らしい明るい海が開ける日南海岸まで、約400kmにわたって海岸線が続いています。宮崎の海は全国屈指のサーフポイントが点在し、初心者から上級者まで誰もがサーフィンを楽しむことができます。



○ アクセス

バス



JR



車・タクシー

- 南宮崎駅から 約25分
- 宮崎空港から 約20分
- 木花駅から 約15分
- 清武駅から 約10分

